

編集発行

公益財団法人 不老会

〒460-0008

名古屋市中区栄

2丁目10-19

名古屋商工会議所内

9:00~17:00 土日祝休

電話・FAX

(052)203-4580

ホームページ

<http://furo-kai.or.jp>

## 第四十一回 献体者顕彰式並びに 第三十一回 御名札納め式のご案内

公益財団法人不老会第四十一回献体者顕彰式並びに第三十一回御名札納め式を左記のとおり執り行います。会員の皆様には万障お繰り合わせのうえご参列ください。また、ご案内申し上げます。

この式は、御遺族の方を中心に営んでおりますので、一般会員に対する通知は本公告をもって代えさせていただきます。

### 記

日時 平成二十七年五月十四日(木曜日) 雨天決行

開式 午後一時三十分(午後三時終了予定)

会場 「献体の塔」前広場

名古屋市千種区平和公園一丁目四〇一番地



### 献体の塔案内図

イメージ図です。縮尺図ではありません。細部は、省略してあります。

### 「献体の塔」への案内

- 1 名古屋駅より(JR、名鉄、近鉄) 市バスのみ利用(約40分かかるが、乗り換えなし)のりば)の、光が丘・猪高行き(基幹2号系統)で「光ヶ丘」下車。徒歩5分
  - 2 地下鉄をご利用の場合は、名城線「自由ヶ丘」下車、市バス 星ヶ丘・猪高行き(星ヶ丘11号系統)で「光ヶ丘」下車。徒歩5分
- 星ヶ丘方面より
- 市バス 地下鉄自由ヶ丘行き(星ヶ丘11号系統)にて「平和公園」下車。徒歩5分



2010K08 FRK

## 医学のおはなし

腎臓は腰より少し上の背中側に、左右一つずつある臓器です。重さは一個130gくらいで握りこぶしくらいで大きな臓器ではありませんが、血液をきれいにするといいとても重要な働きをしています。

血液をきれいにするということは、どういうことなのでしょう。血液は、全身をめぐって老廃物をたくさん含んだ後、腎臓に流れ込みます。老廃物を含んだ血液は腎臓の糸球体というところで濾過され、不要物は尿として排泄されます。体に必要なものは濾過されず、再び全身を巡ります。このようにして常に体の内部に老廃物が貯まらなしくみになっています。

そのため、腎臓が障害されると、体内に老廃物が蓄積され、さまざまな部位に障害が出てきます。

例えば、脳卒中や心筋梗塞など重篤な病気の危険性が高まっ

たり、心不全を起こしたりします。貧血、高血圧などを起こすこともあります。

これらの病気の原因となる腎機能低下はいろいろな病気で起こりますが、原因がなんであれ、腎機能が低下した状態を慢性腎臓病といいます。慢性腎臓病は適切な治療を受けないと、腎不全へと進行し、透析が必要にな

くことが大切です。

高血圧、糖尿病、脂質異常、肥満、喫煙している人、などに当てはまる人は特に注意が必要です。高血圧、糖尿病、脂質異常、肥満などは生活習慣病といわれており、最近ではテレビや週刊誌などでよく取り上げられていますので、ご存知の方も多いと思います。これらの生活習慣病

から、腎臓を大切にするためには悪い生活習慣や肥満を改善することが重要なのです。

## 健康の要は腎臓 腎臓の機能を正常に保つことが重要です。

藤田保健衛生大学医療科学部臨床工学科

准教授 酒井 一由

適切な運動を行うことは、肥満の改善にもつながり、血圧のコントロールにもなります。喫煙は肺への悪影響だけでなく、腎臓の働きも低下させることが明らかになっています。

以上、簡単に腎臓の働き、慢性腎不全の怖さを述べましたが、お分かりのように、腎臓病は腎臓だけの病気ではなく、糖尿病、高血圧、高脂血症など全身の病気、生活習慣病と密接な関係があります。腎臓にやさしい生活をおくることで、生活習慣病の改善にもつながります。腎臓を大切にして、生活習慣を改善し、健康維持に役立てましょう。

ります。現在、日本ではこの慢性腎臓病の患者さんが増加しており、1300万人、約8人に一人の割合になっています。慢性腎臓病は、ほとんどの場合、これといった症状がありません。そのため、病気に気づかず、悪化してしまうことが多いのです。日頃からの定期検診を受けてお

によって、動脈硬化が進行すると、慢性腎臓病を発症させ、悪化させる原因になります。慢性腎臓病があると、今度は生活習慣病をさらに悪化させるという悪循環に陥ります。それらが引き金となり、脳卒中や心筋梗塞を引き起こすリスクが高まって生命の危機に直結します。です

## 平成27年度事業計画（抜粋）

（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

### 1 活動指針

「健康で幸せな人生を全うしたい」という願いは、人誰もが均しく望むところであり、この人類永遠の願望を、医学・歯学の進歩発展をとおして実現させたいとの願いが、不老会活動の理念であり、究極の目的であります。

人体のなんたるかを知ることは、医学・歯学の基礎であり、その学習・研究は解剖によるところがきわめて大きいと言われております。

不老会は、この医学・歯学の学習・研究に文字どおり身を持って貢献したいと、遺体の提供を申し出、医学・医療の進歩発展に役立てていただくことを目的としております。

人は皆、いつかは人生の終焉を迎えます。

形ある最後に、不老長寿の未来実現に役立てる献体・献眼を志して、往生していききたいものであります。

しかしその時まで、今からいか程の歳月が与えられているのか、神ならぬ身の知る由もありませんが、必ず訪れるその日まで、楽しい人生を過ごしていただけるよう支援するのも不老会の大きな目的であります。

### 2 会員の現状と課題

(1) 会員の現状（平成27年1月1日現在）は、次のとおりです。

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| ① 総登録会員数     | 22,696名（前年対比294名増） |
| ② 昨年入会者数     | 294名（前年対比49名減）     |
| ③ 生存会員数      | 6,806名（対前年比111名減）  |
| ④ 総成願者数      | 9,377名（対前年比269名増）  |
| ⑤ 昨年成願者数     | 269名（対前年比15名増）     |
| ⑥ 総不献体者数     | 6,513名（対前年比136名増）  |
| ⑦ 昨年不献体者数    | 136名（対前年比2名増）      |
| ⑧ 総献眼者数      | 3,307名（対前年比112名増）  |
| ⑨ 昨年献眼者数     | 112名（対前年比3名減）      |
| ⑩ 100歳以上の会員数 | 57名（対前年比15名増）      |

(2) 課 題

- ① 会員数は、ここ数年の傾向通り、年間300名前後の登録を受けており、献体運動は順調に進められています。
- ② 生存会員は、登録者の増加傾向にも関わらず、減少しており、寿命の延びを勧奨しますと、やや理解に苦しむ減少であります。

「健康で幸せな人生を支援する」ことを標ぼうする不老会の会員対応も、地区、ブロッ

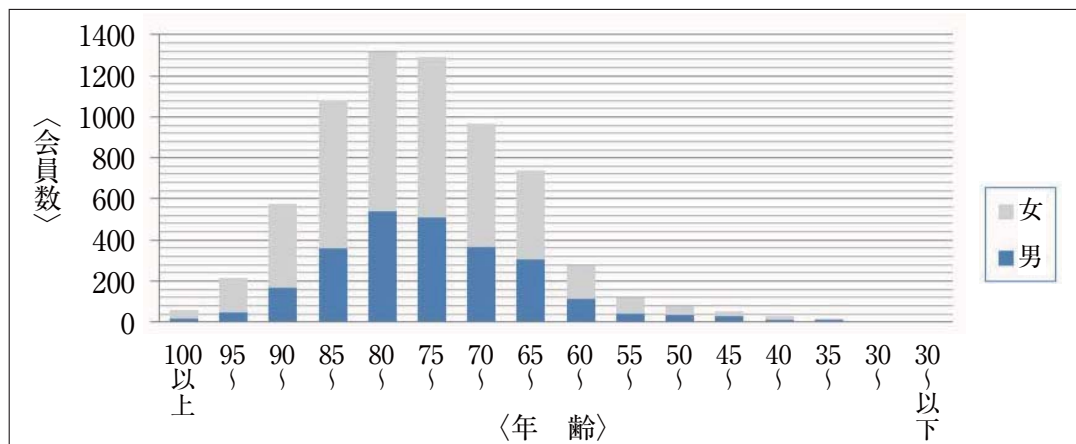


クともますますの成果を得ており、長寿についても100歳以上の方が57名を数え、嬉しい傾向にあります。(表1参照)

- ③ 成願者数は、大学側のご要望に完璧に応じられる状況で推移しています。(表2参照)
- ④ 献体者数は、需要と供給のバランスを保っておりますが、不献体者の数が増加しつつあり、その歯止めに一層の対策が求められます。
- ⑤ 献眼者は順調に増加しており、献眼時のトラブルもほとんどなくなり、献体・献眼運動の相乗効果は、不老会に限ってきわめて大きいといえます。

〈表1〉年齢別会員数

(平成27年1月1日現在)



〈表2〉5大学別の生存会員数及び成願者数

(平成27年1月1日現在)

	生存会員数	成願者数(累計)
名古屋大学	1,370	2,087
名古屋市立大学	1,186	1,836
愛知学院大学	1,417	1,694
藤田保健衛生大学	1,419	2,117
愛知医科大学	1,414	1,356
計	6,806	9,090

(三重大大学を除く)

### 3 会の財政状況と課題

#### (1) 財政状況

- ① 不老会は、収益に係る事業は一切実施しておりません。
- ② 本会の運営に要する経費は、献体運動の趣旨に賛同いただける地元自治体からの助成を始め、賛同いただける大学・医師会・歯科医師会・病院・医院あるいは民間企業・団体・個人など多くの篤志者による浄財により賄っています。

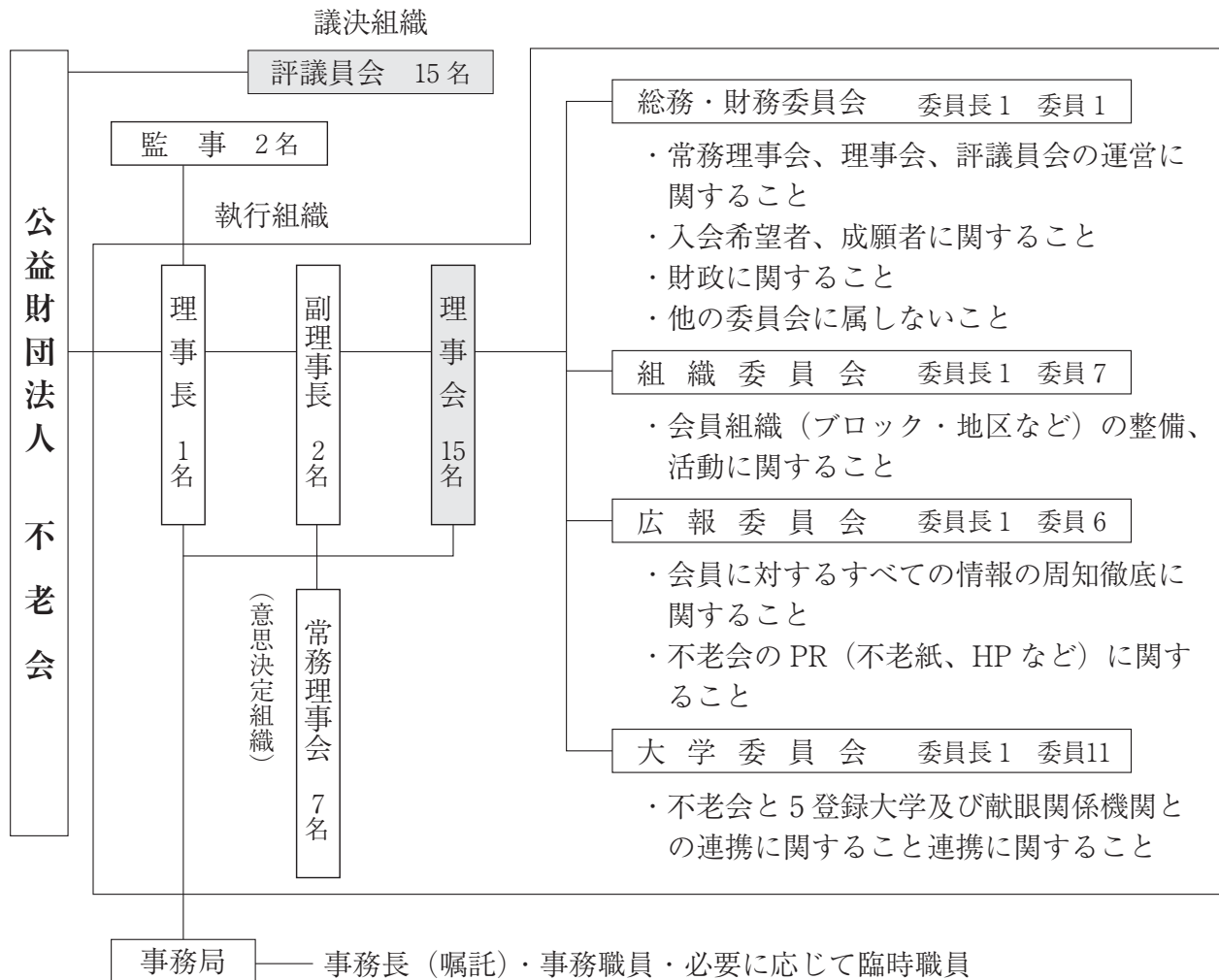
#### (2) 課題

如上のごとく、運営費の全てを自治体からの助成と、篤志団体・個人の協賛による浄財に依存している現状は、財政的にきわめて不安定な状態でありますことは周知のとおりであります。

昨今の経済情勢に鑑みまして、この不安定な運営基盤の是正は至難の業ではありますが、万策を講じて対処していかねばなりません。

聖域であります収益事業の分野も視野に入れた方策も検討していかねばならない現状を認識していただきたいと思ひます。

4 不老会の組織及び委員会の名称と主な業務分担は次のとおりとする。



※会員の中で適任者には委員として加わっていただく。

収 支 予 算 書

平成27年04月01日から平成28年03月31日まで

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
事業活動収入計	30,000,000	30,000,000	0
事業費支出計	25,277,000	25,338,000	▲ 61,000
管理費支出計	5,091,000	5,391,000	▲ 300,000
事業活動収支差額	▲ 368,000	▲ 729,000	361,000
当期収支差額	▲ 368,000	▲ 729,000	361,000
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	▲ 368,000	▲ 729,000	361,000

### 平成26年度第2回 臨時評議員会

三月十七日(火)午後二時より名古屋商工会議所第4会議室にて標記評議員会が開催された。冒頭、北村理事長の挨拶の後、西尾地区代表の鈴木氏を議長に選出し議事を進めた。平成26年度収支補正予算(案)、27年度事業計画、収支予算(案)の説明に対し評議員から承認を得た。

評議員からは不献体防止に対する有効な施策、寄付金による不安定な基本財政の具体的な改善策についての質問があり北村理事長が丁寧に回答した。また、弔辞の内容に遺族に対する感謝の意を盛り込む事で、不献体防止のPRに寄与出来るのでは無いかと提案もあった。(広報・久野)



### 平成26年度第2回 5大学連絡協議会

平成二十七年二月十七日、太閤本店にて5大学代表、北村理事長はじめ不老会理事、各大学部会長の参集を得て標記連絡協議会が開催された。



はじめに、入会申込みにおける「同意者」の取り扱いについて協議が行われ、大学側から、不献体を防ぐ為にも、少しでも多く登録者の情報が欲しいと要望があった。

また、「手術手技研修(サージカルトレーニング)」に掛かる生前同意の状況についても意見交換

が行われた。各大学の諸事情に差異がある事が認識され、今後も大学毎に検討を進めて貰う事を確認した。(広報・久野)

### 篤志解剖全国連合会 第39回団体部会・大学部会 合同研修会及び第45回総会

平成27年3月19〜20日に京都府立医科大学で開催され、北村理事長、笠原常務理事、神原監事及び土屋事務長が出席しました。

1日目は合同研修会が開催され、最初に第8回篤志献体賞の授与式があり、長安亮太郎氏(故人)(岡山大学ともしび会 元副理事長)が受賞されました。氏は「献体」という言葉をもっとも古くから使われた方でその功績によるものです。続いて、「献体についての正しい理解と啓発」をテーマに3大学での取り組みについて発表がありました。

2日目は総会が開催され、平成26年度会務報告・収支決算報告及び平成27年度事業計画・予算が承認されました。

また、次回(平成28年度)の合同研修会・総会は平成28年3月26(27日)に福島県立医科大学の担当で「ビッグパレットふくしま(郡山

市)で開催されることが発表されました。(土屋)



### 組織委員会報告

3月17日第五回委員会を開きました。

議題は「不老会の集い」開催の時間でした。10月14日(水)日没時間が早い秋、時間を早めたらのお声がありました。検討の結果、3時30分までに終了出来れば昨年と同じ1時30分より開催することと決定致しました。

昨年開催後の反省会の折、沢山ではありませんが、御意見が出ました。再度委員会一同皆様に添える努力を致します。

10月14日(水)名古屋公会堂にて「不老会の集い」が行われま



す。沢山の御参加をお待ち致しております。  
(組織・榊原)



### 岡崎地区新年の集い

2月26日(木) 西浦温泉末広にて、雨にかすむ三河湾を眺めながらお風呂に入ったあと、集会を持ちました。病気欠席のかたも見え、22名と一匹の出席でした。

冒頭に献体や不老会についての質問と本部からの回答を説明し、ご遺体の安置方法や、不老会の会計について、補足を行いました。行事予定をお知らせした後、食事に入ってから、近くの方とお話

しが弾み、疑問も解決したり、色々な話や色々な考えを知ることが出来て、楽しい時はあつというまに過ぎてしまいました。余興も出来ない位、話が盛り上がり、楽しかったという声で無事散会いたしました。  
(大山尚毅)



### 一宮市地区「春の研修会」

3月4日(水)の好天日、34名の参加を得て開催しました。

「一宮市」の文字が入った福祉バスに乗り、集合地の真清田神社を出発、一路三重・榊原温泉へ向かいました。

会場では、北村直哉理事長より「不献体になる事例」の紹介があり、会員一人一人がそれを防止して初志貫徹する勇気と努力について学びました。  
昼食に移り会員間の親睦をより深め、生きている幸せに感謝する一日となりました。  
次回は5月に「会員の集い」開催のお知らせをし、再会を約して散会しました。  
(沢井克己)



機関紙「不老」とじ込み用  
ファイル希望者に配布します

会員の方からご要望がありました。ファイルが写真のとおり出来上がりました。

ご希望の方に無料で送付いたします。ぜひ活用していただき、家族の方にも見ていただける場所に保管してください。

配布を希望される方は、会員番号・お名前を事務局までお知らせください。



### ありがとう

不老会成願者から角膜提供により光を取り戻した方々から礼状が届きました。

- 新城市 野沢様
- 津島市 服部様

## 俳句

● 散る花に同じ想ひはなかりけり

知多南部 川井 正彦

## 短歌

● またおいで後姿に手を振りて

遠のく孫に月もにじみて

豊橋市 金澤もとゑ

月	日	曜	行催事名および内容
5	8	金	献体の塔清掃 (三河、美濃ブロック)
〃	〃	〃	総務委員会
〃	14	木	第41回献体者顕彰式並びに第31回ご名札納め式
〃	18	月	大府東浦地区会員の集い
〃	19	火	常務理事会
〃	〃	〃	尾北地区 春の集い
〃	〃	〃	東海市地区集会
〃	22	金	一宮市地区集会
〃	26	火	監査会
〃	29	金	藤田保健衛生大学会員の集い 解剖体慰霊法要
〃	31	日	愛知西部地区集会
6	2	火	第1回理事会
〃	6	土	知多市地区集い
〃	16	火	常務理事会・第1回評議員会

〈不老カレンダー〉

## 編集後記

## 不老会員と「キリスト者の自由の精神」の矜持について

すべてのことに拘束されない自由人として活動し、すべてのことに拘束されて奉仕を尊ぶ人である  
 〈宗教改革者のマルチン・ルターから〉

不老会員は、いつも、慰霊の祈りからはじまり、自由に語らい、喜びと笑いを交えて、すべてのことに感謝しすすんで奉仕のできる人たちだ。  
 (齊藤)